



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日
東

上場会社名 オーベクス株式会社 上場取引所
 コード番号 3583 URL <https://www.aubex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 則義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 塚越 孝弘 (TEL) 03-6701-3200
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,929	△0.9	400	△21.0	417	△19.6	297	△18.6
2023年3月期第3四半期	3,965	△2.7	506	△9.2	519	△7.7	365	△7.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 308百万円(△15.6%) 2023年3月期第3四半期 365百万円(△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 106.79	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	131.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	9,413	6,085	64.6	2,184.64
2023年3月期	9,328	5,833	62.5	2,100.85

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,085百万円 2023年3月期 5,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	1.6	550	△11.7	530	△17.1	390	△16.9	140.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	3,092,623株	2023年3月期	3,092,623株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	307,182株	2023年3月期	315,926株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	2,782,733株	2023年3月期3Q	2,772,577株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更された結果、経済活動の正常化により個人消費やインバウンド消費の増加傾向が顕著に表れたものの、エネルギー関連価格の高騰やインフレの進行、更に少子高齢化に伴う人手不足などにより、経営環境の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、基本方針を「新市場（スタンダード市場）において持続的成長と企業価値向上を具現化する」とする第8次中期経営計画（オーベクスビジョン2024）の目標達成に向けてスタートし、既存事業の強化による事業拡大、持続的成長に向けた設備投資、グループ技術を結集した新製品の開発および新分野への展開などの基本戦略の実行に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,929百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は400百万円（前年同四半期比21.0%減）、経常利益は417百万円（前年同四半期比19.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は297百万円（前年同四半期比18.6%減）となりました。

営業利益率は10.2%となり、前年同四半期比で2.6ポイント減少しました。経常利益率は10.6%となり、前年同四半期比で2.5ポイント減少しました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

（テクノ製品事業）

テクノ製品事業は、中国を含むアジア地域の売上は堅調に推移しましたが、欧米および国内の売上は低調に推移しました。その結果、売上高は2,778百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント利益は534百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。セグメント利益率は19.3%となり、前年同四半期比で3.7ポイント減少しました。

（メディカル製品事業）

メディカル製品事業は、コロナ禍の影響が解消し積極的な販売活動に注力できたことにより、売上は堅調に推移しました。その結果、売上高は1,151百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は103百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。セグメント利益率は9.0%となり、前年同四半期比で2.1ポイント増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、9,413百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）56百万円、機械装置及び運搬具（純額）31百万円、受取手形及び売掛金39百万円の減少があるものの、現金及び預金242百万円などが増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ165百万円減少し、3,328百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金83百万円の増加があるものの、長期借入金209百万円、賞与引当金50百万円などが減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、6,085百万円となりました。これは主に、利益剰余金235百万円などが増加したことによるものであります。

自己資本比率は64.6%となり、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,476,067	2,718,909
受取手形及び売掛金	1,311,668	1,272,065
商品及び製品	153,752	157,416
仕掛品	1,346,253	1,325,689
原材料及び貯蔵品	475,317	474,456
その他	163,883	127,304
貸倒引当金	△1,667	△794
流動資産合計	5,925,277	6,075,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,943,985	2,956,732
減価償却累計額	△1,879,628	△1,949,294
建物及び構築物 (純額)	1,064,357	1,007,437
機械装置及び運搬具	3,235,796	3,297,552
減価償却累計額	△2,811,671	△2,905,027
機械装置及び運搬具 (純額)	424,125	392,524
土地	1,457,442	1,457,525
リース資産	186,076	200,465
減価償却累計額	△132,309	△144,643
リース資産 (純額)	53,766	55,822
建設仮勘定	64,110	102,268
その他	550,852	565,468
減価償却累計額	△493,823	△513,789
その他 (純額)	57,028	51,679
有形固定資産合計	3,120,831	3,067,256
無形固定資産		
特許権	4,622	5,619
リース資産	738	3,503
その他	19,345	18,346
無形固定資産合計	24,706	27,468
投資その他の資産		
投資有価証券	113,663	114,434
出資金	130	130
繰延税金資産	72,793	69,387
その他	76,606	66,187
貸倒引当金	△5,994	△5,993
投資その他の資産合計	257,199	244,145
固定資産合計	3,402,737	3,338,870
資産合計	9,328,014	9,413,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,844	405,757
1年内返済予定の長期借入金	639,778	775,206
リース債務	17,355	13,177
未払法人税等	40,602	33,449
賞与引当金	96,951	46,218
その他	266,981	271,148
流動負債合計	1,383,514	1,544,958
固定負債		
長期借入金	1,517,112	1,171,760
リース債務	23,244	33,282
再評価に係る繰延税金負債	23,042	23,042
株式給付引当金	148,137	160,117
退職給付に係る負債	399,016	395,046
その他	515	515
固定負債合計	2,111,068	1,783,764
負債合計	3,494,583	3,328,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	518,489	518,489
利益剰余金	3,435,330	3,670,908
自己株式	△206,244	△201,060
株主資本合計	5,687,410	5,928,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,913	52,042
土地再評価差額金	27,151	27,151
為替換算調整勘定	66,955	77,829
その他の包括利益累計額合計	146,020	157,023
純資産合計	5,833,431	6,085,196
負債純資産合計	9,328,014	9,413,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	3,965,370	3,929,420
売上原価	2,516,564	2,566,434
売上総利益	1,448,805	1,362,985
販売費及び一般管理費	942,258	962,662
営業利益	506,546	400,323
営業外収益		
受取利息	386	363
受取配当金	2,217	2,243
為替差益	9,991	10,930
受取保険金	-	11,831
補助金収入	7,667	-
その他	5,470	4,532
営業外収益合計	25,734	29,902
営業外費用		
支払利息	10,045	12,153
その他	2,806	540
営業外費用合計	12,851	12,693
経常利益	519,428	417,531
特別利益		
固定資産売却益	64,878	-
特別利益合計	64,878	-
特別損失		
固定資産売却損	22,869	-
固定資産除却損	122	385
特別損失合計	22,992	385
税金等調整前四半期純利益	561,314	417,146
法人税、住民税及び事業税	108,053	116,621
法人税等調整額	88,057	3,348
法人税等合計	196,110	119,969
四半期純利益	365,204	297,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,204	297,176

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	365,204	297,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,581	128
為替換算調整勘定	△7,551	10,874
その他の包括利益合計	29	11,002
四半期包括利益	365,234	308,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,234	308,179

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

当社は、従来、不動産に係る収入及び費用については「売上高」及び「売上原価」として計上しておりましたが、前連結会計年度に賃貸不動産の売却を行なった結果、関係会社への賃貸不動産のみになり連結決算ではその売上高が全て消去されることから、第1四半期連結会計期間から当社個別決算における「売上高」及び「売上原価」を「営業外収益」及び「営業外費用」に変更しております。なお、この変更に伴う四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,907,611	1,057,414	3,965,025	3,965,025
外部顧客への売上高	2,907,611	1,057,414	3,965,025	3,965,025
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,428	3,428	3,428
計	2,907,611	1,060,842	3,968,454	3,968,454
セグメント利益	644,490	72,687	717,178	717,178

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	717,178
全社費用(注)	△210,631
四半期連結損益計算書の営業利益	506,546

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,778,187	1,151,232	3,929,420	3,929,420
外部顧客への売上高	2,778,187	1,151,232	3,929,420	3,929,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	861	861	861
計	2,778,187	1,152,093	3,930,281	3,930,281
セグメント利益	534,938	103,086	638,025	638,025

(注) 追加情報に記載の通り、従来、「その他」の区分で表示しておりました不動産賃貸事業に係る収入及び費用については、表示方法を変更しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	638,025
全社費用(注)	△237,702
四半期連結損益計算書の営業利益	400,323

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(表示方法の変更)

当社は、従来、不動産に係る収入及び費用については「売上高」及び「売上原価」として計上しておりましたが、前連結会計年度に賃貸不動産の売却を行なった結果、関係会社への賃貸不動産のみになり連結決算ではその売上高が全て消去されることから、第1四半期連結会計期間から当社個別決算における「売上高」及び「売上原価」を「営業外収益」及び「営業外費用」に変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。

なお、この変更に伴うセグメント情報に与える影響は軽微であります。